

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
茨木キャンパス	第一看護学科	夜・通信	0	0	7	7	7	
	専攻科 (地域看護学専攻)	夜・通信		4	4	4	4	
青葉丘キャンパス	第二看護学科	夜・通信	0	10	10	10	10	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表 URL http://col.aino.ac.jp/info/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページによる公表 URL <http://www.aino.ac.jp/oat/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立病院 名誉院長	2018. 4. 1～ 2021. 3. 31	産学官連携
非常勤	会計事務所 所長	2018. 4. 1～ 2021. 3. 31	事業会社支援、連携
非常勤	会社役員	2020. 4. 1～ 2023. 3. 31	事業会社支援、連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人 藍野大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)は、「藍野大学短期大学部 カリキュラム・ポリシー」に沿って作成している。</p> <p>授業科目担当教員が、本学指定の様式に「講義名」「担当教員」「配当年次・時期」「基準単位数」「時間」「必修/選択別」「講義区分」「履修要件」「授業の概要」「到達目標」「学位授与方針との関連」「講義回数」「授業テーマ」「授業内容・方法」「担当」「授業時間外の学習」「教科書」「参考文献等」「評価の方法」「オフィスアワー」について明記し、学年ごとに分野別で記載している。</p> <p>授業計画書(シラバス)は、前年の12月頃から科目担当教員に作成を依頼し、3月には完成させて、4月の授業開講前に本学ホームページによる公表をしており、誰もが閲覧可能となっている。公表の時期は当該年度の4月である。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページによる公表</p> <p>URL http://col.aino.ac.jp/info/index.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績の評価は、科目担当者が筆記、口述、レポート、論文、実技等の試験を実施し行う。ただし、授業科目により他の方法をもって試験に代える又は、試験と併用することができる。</p> <p>授業計画書(シラバス)に記載している評価方法により履修及び試験に関する規程に基づいて評価を行う。履修要件がある科目については、その要件を満たしていない場合履修できない。</p> <p>各授業科目の単位認定は、担当教員から提出された成績を基に、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「藍野大学短期大学部 履修及び試験に関する規程」に沿って成績評価を行っている。この規程は学生がいつでも確認できるようにホームページ、学生便覧に掲載し、教員から説明等も行っている。

(成績の評価)

第5条 成績の評価は、科目担当者が試験により行う。ただし、授業科目により他の方法をもって試験に代える又は、試験と併用することができる。

2 評価は優(80点以上)、良(80点未満～70点)、可(70点未満～60点)、不可(60点未満)とする。

3 2019年度入学生以降は、GPA(Grade Point Average)による評価とする。

4 GPAの評価は、S(100点～90点)、A(90点未満～80点)、B(80点未満～70点)、C(70点未満～60点)、D(60点未満)の5段階とし、S～Cを合格とし、Dを不合格とする。また、欠席、受験資格なしの評価はF(対象外)とする。

5 GPAの算出方法は別表3のとおりとする。

6 試験以外の方法で評価する科目の場合においても、第8条に規定する条件を満たしていなければ、評価対象とはならない。

別表3

成績表評価とGPAの算出方法

判定	評価	評点	1単位あたりのGP
合格	S	90点～100点	4
	A	90点未満～80点	3
	B	80点未満～70点	2
	C	70点未満～60点	1
不合格	D	60点未満	0
	F	対象外	0

(例) 2単位の科目の評価がAであった場合、2単位×A(3ポイント) = 6ポイント

GPAは、履修した科目毎の5段階評価(S、A、B、C、D)を4から0までのポイント(GP:Grade Point)に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修単位数の合計で割った平均点とする。

客観的な指標の算出方法の公表方法

ホームページによる公表
URL <http://col.aino.ac.jp/info/index.html>
学生便覧にも掲載している。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみではなく、医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。</p> <p>具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、5つの項目並びに学科ごとに定める項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定すると明記している。</p> <p>卒業および修了の認定は、各学科においてそれぞれ決まった要件単位数を踏まえ、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。</p> <p>必要な単位を修得することで、卒業と同時に、第一看護学科および第二看護学科では短期大学士（看護学）の学位が授与される。</p> <p>独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の定める基礎資格を有する専攻科の学生は、所定の単位を修得し、レポート試験等の審査に合格すれば、修了後に学士（看護学）を取得することが可能である。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>ホームページによる公表</p> <p>URL http://col.aino.ac.jp/info/index.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://www.aino.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://www.aino.ac.jp/financial/
財産目録	ホームページ http://www.aino.ac.jp/financial/
事業報告書	ホームページ http://www.aino.ac.jp/businessreport/
監事による監査報告(書)	ホームページ http://www.aino.ac.jp/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:事業計画書 対象年度:2020年度)
公表方法:ホームページ http://www.aino.ac.jp/businessplan/
中長期計画(名称:中期計画 対象年度:2020年度~2025年度)
公表方法:ホームページ http://www.aino.ac.jp/midplan/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ http://col.aino.ac.jp/info/index.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 第一看護学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる公表 http://col.aino.ac.jp/info/index.html ）
<p>（概要）</p> <p>第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図る。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 http://col.aino.ac.jp/info/index.html ）
<p>（概要）</p> <p>医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。</p> <p>具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①看護師あるいは保健師として十分な専門知識と技能を身につけている。 ②患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができて、円滑なコミュニケーションをとることができる。 ③社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。 ④自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。 ⑤修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。 ⑥チーム医療の一員として同僚や他職種の人と協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。 ⑦医療・保健・福祉における社会資源の知識を持ち、活用方法を考えることで支援システムについて知ることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 http://col.aino.ac.jp/info/index.html ）
<p>（概要）</p> <p>藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めている。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされている。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。 ②基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。 ③各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。 ④豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。 ⑤論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。 ⑥専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。 <p>各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身につけているかを</p>

<p>判定する。</p> <p>実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身につけているかを評価する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる公表 http://col.aino.ac.jp/info/index.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」</p> <p>第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図る。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。</p> <p>この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図る。</p> <p>①高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力</p> <p>②身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力</p> <p>③自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力</p> <p>II. 「入学者に求める能力は何か。」</p> <p>上記I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めている。</p> <p>①相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。</p> <p>②准看護師の基礎的な知識と技術を有し、高い専門性を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる。</p> <p>③明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。</p> <p>高等学校衛生看護科または准看護師学校養成所で修得しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力（国語総合）と数学Ⅰの計算能があげられる。また、入学後の学修を円滑にするために基礎看護と人体と看護の科目を修得しておくことが望まれる。</p> <p>III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」</p> <p>第一看護学科の選抜試験では、以下の評価を行う。</p> <p>①一般選抜入試では、上記Ⅱ. で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力）を評価する。前期日程においては、小論文と看護専門科目により評価する。また、後期日程においては、看護専門科目と面接により評価する。</p> <p>②推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価する。</p> <p>③社会人入試では、看護専門科目および面接により意欲、資質などを評価する。</p> <p>面接においては、上記Ⅱ. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価する。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用する。（評価全体に占める面接の比率は約25%）</p>

学部等名 第二看護学科
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる公表 http://aoba.aino.ac.jp/summary/info.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>第二看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、看護に関する専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図る。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 http://aoba.aino.ac.jp/summary/info.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>藍野大学短期大学部では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。</p> <p>具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①看護師あるいは保健師として十分な専門知識と技能を身につけている。 ②患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができ、円滑なコミュニケーションをとることができる。 ③社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。 ④自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。 ⑤修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。 ⑥チーム医療の一員として同僚や他職種の人と協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。 ⑦医療・保健・福祉における社会資源の知識を持ち、活用方法を考えることで支援システムについて知ることができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 http://aoba.aino.ac.jp/summary/info.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めている。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされている。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。 ②基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。 ③各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。 ④豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。 ⑤論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。 ⑥専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。 <p>各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身につけているかを判定する。</p> <p>実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション</p>

ン能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身につけているかを評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる公表
<http://aoba.aino.ac.jp/summary/info.html>）

（概要）

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

第二看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、看護に関する専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図る。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。

この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図る。

- ①高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- ②身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力
- ③自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記I. を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めている。

- ①相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。
- ②看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、看護に関心を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる。
- ③明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。

高等学校で履修しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力（国語総合）と数学Ⅰの計算能力があげられる。また、入学後の学修を円滑にするために、生物基礎の科目を履修しておくことが望まれる。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

第二看護学科の選抜試験では、以下の評価を行う。

- ①一般選抜入試では、上記II. で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力）を評価する。
前期日程においては、小論文と選択科目1科目（数学Ⅰ、生物基礎）により評価する。また、後期日程においては、国語総合と面接により評価する。
- ②推薦入試では、国語総合および出身高等学校の調査書における評定値、面接により意欲、資質などを評価する。
- ③AO入試では、講義等理解力試験および面接により意欲、資質などを評価する
- ④社会人入試では、国語総合および面接により意欲、資質などを評価する。

面接においては、上記II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価する。面接における参考資料として、志望理由書やエントリーシートを活用する。（評価全体に占める調査書の比率は約13%、面接の比率は約25%）

学部等名 専攻科 (地域看護学専攻)
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページによる公表 http://col.aino.ac.jp/info/index.html)
(概要) 専攻科 (地域看護学専攻) では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団、組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できる人材育成を目指す。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページによる公表 http://col.aino.ac.jp/info/index.html)
(概要) 藍野大学短期大学部では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。 具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定する。 ①看護師あるいは保健師として十分な専門知識と技能を身につけている。 ②患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができて、円滑なコミュニケーションをとることができる。 ③社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。 ④自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。 ⑤修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。 ⑥地域の健康課題を明確にし、その課題解決に向けて計画・立案する方法を理解している。 ⑦地域に存在する社会資源の把握及び活用方法を修得し、必要な支援システムや資源について考えることができる。 ⑧公衆衛生看護の対象となる個人・家族・集団・組織に対して、対象別の実践方法を理解している。 ⑨関係機関・関係職種との協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページによる公表 http://col.aino.ac.jp/info/index.html)
(概要) 藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めている。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされている。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れている。 ①基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。 ②基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。 ③各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。 ④豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。 ⑤論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。 ⑥専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。
各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身につけているかを

判定する。

実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身についているかを評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる公表

<http://col.aino.ac.jp/info/index.html>）

（概要）

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

専攻科（地域看護学専攻）では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団、組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できるように、入学後は以下の能力の向上を図る。

- ①高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- ②身につけた看護学をもとに、公衆衛生看護の視点をもって、保健師として自発的に目的意識を喚起できる能力
- ③自ら考え、積極的な姿勢で、最後まで粘り強くやり遂げる能力
- ④社会情勢などをみて、物事を客観的に見極め、保健師の役割について考えられる能力
- ⑤地域の医療・保健問題の調査研究や問題解決に主体的に取り組める能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記 I. を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めている。

- ①対象者と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。
- ②看護学に関する基礎学力を有し、公衆衛生看護に関心を持っている。
- ③自己研鑽に努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- ④探求心を持ち、主体的に研究に取り組むことができる。

入学後の学修を円滑にするために、また、各看護師養成校で修得しておくことが望ましい科目として、看護学（特に公衆衛生看護学）の基礎知識・看護技術があげられる。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

専攻科（地域看護学専攻）の選抜試験では、以下の評価を行う。

- ①一般選抜入試では、上記 II. で掲げた教科を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力、文章表現力）を評価する。
前期日程においては、看護学と小論文により評価する。また、後期日程においては、小論文と面接により評価する。
- ②推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価する。
- ③社会人入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価する。

面接においては、上記 II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価する。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用する。（評価全体に占める面接の比率は約 30%）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページによる公表 URL <http://col.aino.ac.jp/info/index.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
第一看護学科	—	2人	0人	10人	5人	0人	17人
第二看護学科	—	3人	1人	7人	7人	3人	21人
専攻科	—	0人	1人	1人	2人	0人	4人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			99人				99人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページによる公表 URL http://col.aino.ac.jp/info/index.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
第一看護学科	100人	92人	92%	200人	191人	95.5%	0人	0人
第二看護学科	80人	96人	120%	240人	279人	116.3%	0人	0人
合計	180人	188人	104.4%	440人	470人	106.8%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
第一看護学科	104人 (100%)	2人 (1.9%)	101人 (97.1%)	1人 (1.0%)
第二看護学科	69人 (100%)	1人 (1.4%)	56人 (81.2%)	12人 (17.4%)
専攻科	40人 (100%)	0人 (0%)	39人 (97.5%)	1人 (2.5%)
合計	213人 (100%)	3人 (1.4%)	196人 (92.0%)	14人 (6.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>「藍野大学短期大学部 カリキュラム・ポリシー」を基に授業科目、授業方法、内容および授業計画について授業計画書（シラバス）に記載している。</p> <p>授業科目担当教員が本学指定の様式に、「講義名」「担当教員」「配当年次・時期」「基準単位数」「時間」「必修/選択別」「講義区分」「履修要件」「授業の概要」「到達目標」「学位授与方針との関連」「講義回数」「授業テーマ」「授業内容・方法」「担当」「授業時間外の学習」「教科書」「参考文献等」「評価の方法」「オフィスアワー」について明記し、学年ごとに分野別で記載している。</p> <p>各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身についているかを判定する。実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身についているかを評価する。</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>学修の評価は、授業計画書（シラバス）に記載している評価方法（筆記試験、口述、レポート、論文、実技等）により履修及び試験に関する規程に基づき科目担当教員が行う。履修要件がある科目については、その要件を満たしていない場合履修できない。「藍野大学短期大学部 履修及び試験に関する規程」「藍野大学短期大学部 G P A 評価の取扱いに関する内規（平成 31 年 4 月 1 日から施行）」に則り、S（90 点～100 点）、A（90 点未満～80 点）、B（80 点未満～70 点）、C（70 点未満～60 点）、D（60 点未満）の 5 段階とし、S～C を合格、D を不合格としている。1 単位あたりの G P を S（4）、A（3）、B（2）、C（1）、D（0）として G P A を算出し評価する。また、欠席、受験資格なしの評価は F（対象外）としている。各期末に内規に沿って各学生の G P A を算出し、必要な学生に学習指導を行う。</p> <p>年度末には、G P A 1.5 以上かつ D 評価が 3 単位以下の学生は、課題の提出または補講を受けることを条件に該当科目の単位認定試験を受けることができる。F 評価については、単位認定試験の対象とせず、実習科目も対象としない。各授業科目の単位認定は、担当教員から提出された成績を基に、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみではなく、医療環境の変化に対応してゆくことのできる柔軟性を持ち、さ</p>

らに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。

具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、5つの項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定することを明記している。

卒業および修了の認定は、各学科それぞれ決まった要件単位数を踏まえて、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
茨木キャンパス	第一看護学科	70 単位	有・無	単位
	専攻科 (地域看護学専攻)	34 単位	有・無	単位
青葉丘キャンパス	第二看護学科	101 単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : ホームページによる公表 URL <http://col.aino.ac.jp/info/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
茨木キャンパス	第一看護学科	760,000 円	250,000 円	643,838 円	
	専攻科	850,000 円	400,000 円	448,105 円	
青葉丘キャンパス	第二看護学科	1,350,000 円	250,000 円	163,477 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>①学業成績優秀学生生徒給付奨学金制度 本学に在籍する学生生徒において、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物的にも優れた者に対して学資を給付することにより、学生生徒の勉学意欲および修学環境の向上並びに優秀な人材の輩出を図ることを目的とした、本法人独自の修学支援制度を運用している。</p> <p>②学納金納付期限の延長 新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、経済的に困難を抱える家庭が増加していることを鑑み、2020年度後期学納金の納付期限を一律1ヵ月間延長することを決定した。なお、今後についても社会情勢等を考慮して可能な限り柔軟に対応する体制を取っている。</p> <p>③グループ病院奨学金制度 本法人のグループ病院である「医療法人恒昭会」および「医療法人恭昭会」より、本学で学ぶための学費等の貸与を受けられることができる制度を運用している。相互に緊密な連携を図ることで、一定の条件を満たせば奨学金全額の返還が免除される制度である。</p> <p>④提携病院奨学金制度 大阪府、京都府の各病院より、本学で学ぶための学費等の貸与を受けられることができる制度を運用している。実習病院をはじめ、卒業生が活躍している事業所が多く、一定の条件を満たせば奨学金全額の返還が免除される制度である。</p> <p>⑤日本学生支援機構奨学金制度 「新給付奨学金」、「第一種・第二種奨学金」、「緊急特別無利子貸与型奨学金」など、個々の家庭環境に応じた給付・貸与を受けられることができる独立行政法人が運用する制度を本学でも利用している。また、修学支援新制度と連動する「授業料減免制度」もすでに積極的に活用している。</p> <p>⑥「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』制度 家庭から自立してアルバイト収入により学費等を賄っており、その収入が大幅に減少した学生等に対して一定額を給付支援する当制度を、本学でも広く告知して活用している。</p> <p>⑦日本政策金融公庫による教育ローン制度 入学時や在学時に必要となる資金を融資される制度を、必要に応じて個々に案内している。</p>

⑧株式会社ジャックスによる教育ローン制度

上記企業と提携したローン（悠裕プラン）制度で、必要に応じて個々に案内している。

⑨各都道府県・自治体奨学金制度

地方自治体の教育委員会や法人組織が募集する貸与奨学金で、各都道府県がその地方の出身者を対象に行っている制度である。本学の奨学金案内冊子においても紹介しており、広く周知を行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

①就職支援（求人情報システム）

本学に届く求人票については、就職資料室に配架している求人票ファイルのみならず、独自の求人管理システムである「A I N O N A V I（藍野ナビ）」に登録することで、場所や時間を選ばないWEB上でも同様の求人情報を提供している。

また、本法人の「藍野大学キャリア開発・研究センター」と連携しながら、卒業後についても希望に応じて継続した支援を実施している。

②就職支援（履歴書添削・模擬面接）

個々の学生に対する支援の一環として、受験時期に応じた履歴書添削および模擬面接を実施している。教員と事務職員が連携を図りながら、違った視点からアドバイスを行うことで、第一志望事業所への就職をサポートしている。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防の一環として、SNSやZ o o m等を活用した指導も採用している。

③就職・進学支援（就職・進学関連資料設置）

就職資料室には求人票の配架のみならず、医療・福祉に関連する各種就職資料や大学3年次編入・専門学校進学資料なども自由に閲覧できるよう配置している。また、就職サポート業者が主催するガイダンス案内や冊子などの配布も行っている。

④就職説明会

実習病院を主とした「学内就職説明会&奨学金説明会」を継続して実施している。学生に対して多彩な就職先病院を紹介することで、進路選択の幅を広げるとともに、早期の就職決定を支援している。

⑤就職マナー講座

就職活動に必要なマナー向上などを目的とした外部業者による講座を実施することで、早期に就職に対する意識付けを行っている。「就職活動準備講座」、「履歴書・面接対策講座」、「学外実習前マナー講座」など、時期に応じた対策講座を行うことで、個々の能力底上げとモチベーション向上を図っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

① スクールカウンセラー

毎週、定期的にスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施している。学生のみならず、教職員なども対象としており、申込み方法についてもWEB経由はもちろん、より簡単に申し込めるよう「学生相談申込用紙」を常設し、「学生相談申込箱」を設置するなど、利便性を高めている。

② 学生支援推進室

本学内に「学生支援推進室」を設置しており、スクールカウンセラーとも連携しながら、学生の相談内容や希望に応じて、迅速かつ柔軟な対応を取っている。また、「ハラスメントに関するアンケート」や「卒業生へのアンケート」なども主管して実施することで、学内環境や学生生活の改善にも寄与している。

③ 学生生活サポート

教員をはじめ、学生支援グループ担当者が学生一人ひとりに寄り添った丁寧な学生相談等を実施し、実習や授業はもとより、学生寮などにおける生活面に関するサポートを担っている。

④ 「学生生活スタートブック」の作成・配布

今年度より、主に新入生を対象とした学生生活啓発ブックを作成・配布（在校生にも配布）した。学生がトラブルに巻き込まれやすい「薬物」「飲酒」「SNS」をはじめ、「心の病」「防犯」「人間関係」などについての注意点をわかりやすくまとめた冊子としており、本学のカウンセリング窓口の案内、公的機関の連絡先などを掲載している。

⑩ 教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページによる公表 URL <http://col.aino.ac.jp/info/index.html>